

再びの快挙 養老の丸房代さん

第5回更級日記千年紀文学賞選考委員特別賞受賞

この賞は更級日記の作者菅原孝標女（すがわら たかすえ）のむす

更級日記千年紀文学賞



養老の丸房代さんが2021年の第1回更級日記千年紀文学賞選考委員特別賞の受賞に続き、2025年の第5回も同賞

め）が上総国府を立出して京へ旅立ってから千年を記念して2020年に創設されたものです。丸さんの1回目の受賞作は養老に嫁いでからの40年の嫁の歴史を綴った「なの花びより」という作品でした。第5回目の今回の受賞作品は「父の隠居」で、漁師であった父が高度経済成長期の時代に翻弄され、晩年に平穏を手に入れるまでを、簡潔で静謐な文章でつづったエッセイです。

加茂里山通信

令和8年
新年号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造



加茂地区で光り輝くイルミネーション



冬になると加茂地区の小湊線の各駅にはそれぞれの地域活動団体によってイルミネーションが飾られ、風物詩となっています。昨年まで圧倒的な存在感を放っていたクオオドの森のイルミネーションは今年からなくなりましたが、その思いは月崎駅の装飾に受け継がれ、今年は駅手前の踏切辺りから始まり、大久保寄りの駅の端まで長く続いています。クオオドの森にあった球状のものも飾られ、例年以上に華やかでした。加茂地区はこのほかにも加茂公民館が昨年を上回る規模で飾り付け、「ウェルカモ」が

迎えてくれてます。消防の加茂分署も「火の用心」のイルミネーションで注意喚起しています。飾り付けるイルミネーションの量が多ければそれを保管しておく場所が更に必要であり、次回使うためには回路の断線が起きないよう仕舞い方にも注意が必要です。飾り付けも三脚などで木の枝や用意した竹の先などに丁寧に取り付けていきます。また飾

り付けた最後に最も重要なのは、雨が降っても大丈夫なように接点に水が侵入しないようにビニールテープで巻いたり全体を少し持ち上げビニール袋や箱などで養生してあげること、こが野外展示するための肝になります。飾り付けたものが夜見る人にどう映るのか、配色はどうか、全体としての構成はどうか、様々な思いを込めて飾り付けは進められ、時間と労力がつぎ込まれます。多くの人たちの思いが込められ飾り付けられたイルミネーションが加茂地区に光輝きました。



加茂学園は今

学園祭



10月25日（土）に学園祭が行われ、大勢の保護者・来賓の皆様が見守る中、生徒たちの思いのこもった発表が披露されました。今年のテーマは「Enjoy Every Moment」楽しんでもん勝ち」でした。前期ブロックは、英語劇「Swimmy」Be together as one) でした。オールイングリッシュで表現豊かに演じました。中期ブロックは「Expo

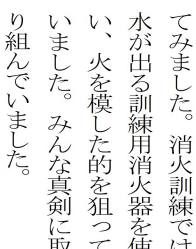


加茂学園では小中一貫教育校としての利点を生かし、毎日の縦割り清掃に加えて「ふれあい昼休み」や「ふれあい給食」等といった異学年交流の機会を定期的に設けています。12月11日（木）は「物作りふれあい昼休み」159人が縦割り班に分かれ、上級生が下級生に優しく教えるながら飾りを作り、クリスマスツリーを完成させました。

4年生消防クラブ



11月6日（木）に市消防局の方を招いて、4年生が通報訓練と消火訓練を行いました。通報訓練では実際に119に電話をかけ、火災発生場所の説明をし



てみました。消火訓練では水が出る訓練用消火器を使い、火を模したものを狙っていました。みんな真剣に取り組んでいました。

加茂産直まつり開催される

恒例の秋の産直まつりが11月23日（日）に開催



されました。リンゴの詰め放題もあり、多くの人たちが並びました。飲食コーナーのテーブルはすぐに埋まり、家族連れがつかたての餅をほおばる光景もいつもなが



宝船プレゼント

「大当たり賞」3名様
「お年玉賞」7名様
「超目玉賞」6名様

住所・氏名・電話番号と里山通信へのご意見・感想を添えて「宝船希望」と明記してハガキで応募して下さい。



当選の方には直接連絡いたします。賞品の引き渡しは2月22日（日）午前11時月崎の商工会議所加茂支部前で行います。取りに来られない方でご連絡のない方は無効となりますのでご了承ください。

編集後記



・明けておめでとうございます。昨年の猛暑から短い秋を経て厳しい冬となりました。イノシシ・鹿・キョンのトリオにヒトドリは相変わらず大暴れですが、雪もほとんど降らず、熊もいない千葉県は恵まれていると思います。・2026年度中にいよいよ圏央道の松尾横芝から先がつながり成田や目立等との流通が拡大します。成田空港の滑走路の拡大とこの圏央道の全面開通で成田周辺の開発が進み、いろいろなプロジェクトが進んでいると聞きます。その影響は圏央道の通り道で東京との中間点に当たる高滝にも及ぶと思います。成田空港にも羽田空港にも1時間以内で行けて、国道297号線と交差する場所という立地条件に恵まれば、様々な可能性が考えられます。大きな変化のある年になるかもしれません。

愛車のある幸せ暮らし
応援します！
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL 0436-96-0482
FAX 0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
ワカサギ絶好調！
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277

次回4月20日発行予定です。
情報提供、取材依頼は近頃の通信員へ。
メールでも受け付けます。
記事・聞える・意見、お問い合わせは左記へ。
市原商大議所
0436(22) 4305 担当 霜崎
Eメール Tsap@cc-i.or.jp

市原商工会議所ニュース
里山むすび わたしを語る
第2回 高橋洋介さん
空き家を聞き、地域の未来を紡ぐ
加茂の里山を舞台にした新しいトークイベント「里山むすび わたしを語る」の第2回が、11月19日の夜、高瀬神社で開かれました。本企画は市原商工会議所加茂支部とちば高瀬インベーション協議会が共催しています。



今回のゲストは、南市原の空き家問題に向き合い、移住促進に取り組む「開宅舎」の高橋洋介さんでした。市原市出身の高橋さんは、27歳で地域おこし協力隊として市原市で活動を開始しました。石神の菜の花畑づくりなどに関わり、2021年に「開宅舎」を法人化しました。

こつもと紀行
流れの中で描く私の物語
旧白鳥小学校 令和7年11月1日
市原市はアートによるまちづくりを進めています。市民の皆さんにアートに触れて楽しんでいただく様々なイベントが開催されています。その一環として、廃校になった白鳥小学校を会場に、江上越さんを招いてワークショップが開催されました。



講師の江上さんは杏林大学医学部の客員教授として「アートセラピー」という心の回復や維持、成長を促す心理療法の授業を行っています。国際的に活躍しているアーティストに加茂地区で普通にイベントに参加していただいていることに感謝です。

加茂公民館祭
加茂公民館 令和7年11月2日
令和7年の加茂公民館まつりはサークル活動の成果発表も発表していましたが、例年以上に進化をみせていました。



で、山奥の物件では子どもの友達不足や高校進学時の通学の困難さから、移住者が地域外へ転居する事例も共有され、課題解決への決意を新たにしました。

里山会議開催される
近くの人を喜ばせたい
去る10月18日（土）、里見プラントミュージアム（旧里見小学校体育館）で、第27回となる里山会議が開催されました。市原市からは稲垣副市長をはじめ14人、小湊鉄道からは石川社長はじめ11人に参加いただき、里山団体の56人を合わせた81名で盛り上がりました。会議をしない里山会議は、行政や小湊鉄道からの情報提供や里山団体相互の情報交換と交流が主な目的ですが、実はおいしい料理が腹一杯食べられるのもワリです。

中の人となった筆者は今回はじめて調理（補助）に挑みました。三原シェフ7人のスタッフは、メニューの検討から買い出し、当日は早朝から仕込み開始し、6時間かけて80名分の料理を作りました。メインは、シェフ監修、指導による蒸し鶏のフラー盛りなど5品の里山プレート、定番の里山カレーとガーリックライスです。この里山会議はこうした緑下の力持ちのお蔭で開催されていると改めて実感しました。スタッフのモチベーションは、参加者の心と腹を満たすこと。まさに、近くの人を喜ばせたいという里山魂ですね。さて、会議でのトピックスを簡単に紹介します。



開会からチーバ君と市原市のマスコットのオッサ君が舞台に登場。公民館のスタッフや関係者が揃いのシャツをまとい、舞台上で踊るなど、例年にない趣向で会場を大いに盛り上げていました。

月崎駅 森ラジオ 令和7年11月2日
月崎駅の前で、初回のアートミックスの作品である「森ラジオ」を管理運営していた「森遊会」



の皆さんが、現在、森の回廊と縄文式の堅穴住居づくりに取り組まれています。その活動の慰労会も兼ねてお招きした縁者による、ファイヤーショーを見せていただきます。

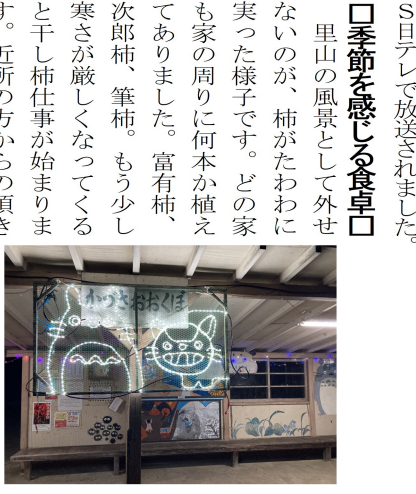
秋の里山の新しい風景の一つでした。
(大曾根T里山通信員)

南市原里山連合の松本会長からは、20年前にはじめた地域活性化活動は石神などの花畑など成果が出てきていて、特に飯給駅は桜と列車が織り成す風景が世界の絶景駅100選にも選ばれたこと（日本では2駅のみだとか）、お蔭で花咲かおじさんとしてTV局に追いかけてられているとのエピソードが紹介されました。



また小湊鉄道の石川社長・副社長の名コンビによる恒例の紙芝居シリーズは、2026年4月からスタートする学生年間バスポート（年パス年間1万円で乗り放題）についての説明とお願いでした。鉄道沿線での子ども数の減少している現状を数値で示し、年パス開始の背景などの説明があり、同時にその財源として大人の方から3千円の寄付（各種特典付き）のお願いも。里山団体などからは、月出アトキヤンプ2025、森ラジオではファイヤーパフォーマンス、ひな祭り2026、ツルマイテラス、トークイ

里山の二輪走NONO
我が家の最寄り秘密駅「上総大久保駅」です。S目テレで放送されました。



『ガトー・オ・ボム』
材料…砂糖80g、卵2個、サラダ油100cc、プ

里山むすび わたしを語る
「空き家で川柳2025」無事に終了しました。この企画は、空き家をテーマにした川柳を加茂地区の住民から募集し、その中から一等を選出して表彰するというもの。応募期間の約2ヶ月で集まった川柳は190句。皆さんに協力いただいたおかげで多くの川柳が集まりました。ありがとうございました。



各地域から1人ずつ審査員をお願いし、審査を行いました。表彰式では、輸車に加茂地区の農産物3万円相当をのせてプレゼント。一等の作品は手作りの薬玉で発表しました。（そがが一番盛り上がりました。ちゃんとして割れてよかった、）空き家については、つい真面目に考えすぎてしまいましたが、真面目な課題だからこそおもしろおかしく愉快に解決していけたらいいと思います。来年もやろうと思うのでみなさんぜひ参加ください。

ライクマ 空き家見つけてシェアハウス
(古敷谷・いも娘)



作り方①リングは皮と芯を除き薄スライス、レモン汁をかける②ボールに卵、サラダ油、砂糖を入れてよく混ぜる、さらにヨーグルトを加えて混ぜる③あつた粉類を加え、よく混ぜる④パイ皿にクッキングシートを敷いて、種を半分ほど流しリングを放射状に並べ残りの生地を流し込む⑤200℃のオーブンで30分40分焼く。

(大曾根R里山通信員)

富山地区防災訓練
11月30日（日）に富山地区の防災訓練を開催しました。

富山地区の防災組織は市原市の地区防災計画に基づき令和4年に旧富山小学校地区を対象として立上げ、正式名称は「旧富山小学校地区防災計画推進協議会」です。市内では48地区中6番目の早さ（現在も未だ18地区のみ完了）、今年で4回目の訓練となります。毎年活発な活動をして市内では地区防災は「富山」は言われているのでです。



今年「災害時のおしらせタール」（反射テープ付「無事ですか리가とう」）を市の補助金も活用して購入して8:00から安否確認を実施しました。各町会の班、組の組織が1軒ずつ

人と環境が一体となって大切な未来へ
自然環境と人間との調和を目指して
杉田建材株式会社
本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111
URL http://www.sugita-group.com/

旧富山小学校地区防災計画推進協議会
石川 亮一

HONDA
The Power of Dreams
— ホンダの夢 市原へ —
Honda Cars 市原
■ 五井中央店 ☎ 0436-24-1111(代)
■ 馬立店 ☎ 0436-95-5050(代)
HP: https://www.hondacars-ichihara.co.jp/

・空き家にも 御先祖様が 宿ってる (不入・かつちゃん)
・我が家より 空き家の方が 豪邸だ (養老・どぞの職員)
・すまないが 相続放棄 空家にする (養老・庭野おじ)
・人去った 屋根に一本 残り草 (高瀬・野庵館(スタジオイ)
・空き家借り 夜の灯(あかり)が ひとつ増え (久保・シロココマ)
・空き家にも 地域の方で 灯(ひ)をととす (万田野・キョンシ友達)
・閉じた窓 開けて移住の 風通す (久保・グリ)
・どうするの 空き家の話 明日は我が身 (大和田・サトちゃん)
・空き家にも 住んでた証 柱キズ (久保・久保のシェフ)
・空き家でも 草とりしては 孫思ふ (万田野・ニ)